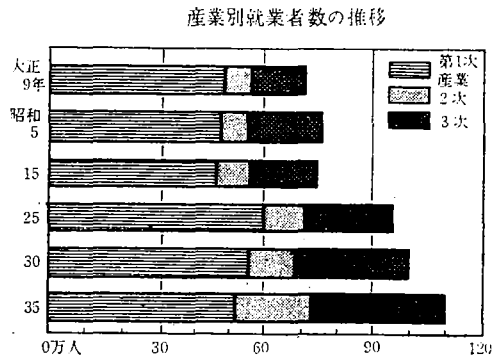


18. 産業別就業者数の推移

国や県の経済発展段階を示す指標として、もちいられる就業者の産業構成をみると、本県は農業県で知られているとおり農業や水産業に従事する人々が約半数以上を占め、いわゆる家族労働による産業が主体をなし雇用労働による産業の割合は少なかった。大正9年の第1次産業は全就業者数の69.6%，昭和15年64.0% 35年46.9%と次第に少くなり、その反面2次，3次産業の雇用労働による産業就業者の割合が高くなってきた。しかし神奈川，愛知，兵庫，福岡などの先進県にくらべその割合は低く特に雇用労働の高い，2次産業は低く，全国での順位は32位である。



各年10月1日現在

年	総数	第1次産業		第2次産業			
		農業, 林業, 狩猟業	漁業, 水産養殖業	鉱業	建設業	製造業	
大正 9年	714 952	466 973	30 463	782	13 870	55 447	
昭和 5年	752 841	472 083	24 397	443	17 510	56 149	
15年	736 521	447 131	24 292	851	15 382	68 510	
22年	931 357	573 215	36 954	1 122	29 018	103 569	
25年	949 277	564 626	35 518	816	26 002	87 331	
30年	1 002 170	526 790	34 799	935	29 538	105 732	
35年	1 105 510	479 857	38 273	2 145	48 515	164 348	
第 3 次 産 業							
		卸売業, 小売業	金融, 保険, 不動産業	運輸, 通信, 電気, ガス, 水道業	サービス業	公務	分類不能の産業
大正 9年	61 189	1 884	16 551	38 194	19 047	10 552	
昭和 5年	89 295	2 240	19 077	47 230	24 176	241	
15年	82 487	3 958	23 524	52 386	13 078	4 922	
22年	54 197	4 888	33 844	63 475	22 655	8 420	
25年	91 295	6 794	35 447	72 577	28 392	479	
30年	123 887	12 349	41 440	97 108	29 556	36	
35年	153 319	17 180	53 079	113 333	35 288	173	